

Small and Medium
Enterprises
Support Center

Innovation
Promotion Center

Asia Business
Promotion Center



TONIO
Toyama
New Industry
Organization

公益財団法人富山県新世紀産業機構は、創業・ベンチャー、経営革新、技術開発、販路・流通拡大等、企業経営や事業展開のなかで直面するさまざまな課題に対して、効果的な解決を図るためにワンストップで支援する総合支援機関です。

富山県や産業支援機関等と連携・協調を図りながら、新産業の育成・創出、企業経営の革新、アジア経済交流の推進等、活力ある地域経済の形成と富山県産業の躍進のために事業を展開してまいります。

とやまの企業の元気づくりを ワンストップで支援します。

3センターによる 実施体制 CONTENTS

P.3 1. 起業家の育成・支援

- とやま起業未来塾の実施
- 創業チャレンジの支援



P.3 2. 創業・ベンチャー企業等の支援

- 創業等の支援
 - 創業・ベンチャーへの挑戦応援
 - 多様な起業家に対する創業チャレンジ支援
 - 移住者に対する創業チャレンジ支援
- ビジネスインキュベーションの推進
- 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

P.4

P.4 3. 経営の革新・活性化支援

- 窓口相談の実施
- 専門家の派遣
- IoT・AI活用人材育成・導入促進支援
- よろず支援拠点の設置
- 下請かけこみ寺の各種相談
- 中小企業の経営改善、事業再生支援

企業の成長段階に応じた 主なサポート体制



(創業・ベンチャー)

- 「とやま起業未来塾」の実施
- 創業チャレンジの支援
- ビジネスインキュベーションの推進

(資金面等の支援)

- とやま中小企業チャレンジファンド
- 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド
- 創業等の支援
- 窓口相談の実施



- P.5 □ 事業承継・事業引継ぎ支援
- 中小企業等の外国出願助成
- 地域資源を活用した事業支援
- ビジター対応のビジネス支援
- 小さな元気企業の応援
- 農商工連携を活用した事業支援

P.5 4. 販路の開拓支援

- 受発注取引のあっせん・紹介
- 商談会・展示商談会の実施
- 販路開拓の挑戦支援
- 首都圏への販路開拓支援

P.5 5. 情報化の支援

- TOYAMAインターネット活用研究会
- ITビジネス利活用促進支援
- 図書・ビデオ・DVDソフトによる情報提供

P.6 6. 産学官連携の推進

- 水素インフラ・次世代自動車研究の推進
- 医薬工連携イノベーション創出の推進
- ロボット技術研究ネットワークの推進
- 医薬バイオ地域イノベーションの推進
- ヘルスケア産業育成創出の推進
- アルミ産業成長力強化戦略の推進

P.6 7. 新産業・新技術の創出支援

- 産学官イノベーションの推進
- 医薬品関連ものづくり研究開発の支援
- 企業間連携による事業化実現への支援
- とやまナノテククラスター技術移転・事業化の促進
- ものづくり研究開発支援
- 戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)



P.8 8. 富山県ものづくり研究開発センター

P.9 9. アジア経済交流の推進

- アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

P.9 10. 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

- 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

P.9 11. 貿易・投資コンサルティング

- アドバイザーによるコンサルティングや「中国研究会」の開催

P.10 12. 海外市場開拓の支援

- 販路開拓の挑戦支援
- 海外バイヤー招へい商談会の開催
- 経済交流ミッションの派遣

P.10 13. 富山県ものづくり総合見本市の開催



(販路拡大・新商品の開発)

(研究開発の支援)

● 産学官連携の推進

● 新産業・新技術の創出支援
(県・国による研究開発支援事業)

● 地域イノベーション戦略支援

● 富山県ものづくり研究開発センター
利用による高度産学官共同研究支援

● アジア経済交流の推進

● 貿易投資コンサルティング

● 海外市場開拓の支援

● 富山県ものづくり総合見本市

● 首都圏への販路開拓支援

● 広域商談会の開催

● ITビジネス利活用促進支援

● 地域資源活用等による
新商品・新サービス開発支援

● 新商品・新事業創出支援



中小企業支援センター

創業・ベンチャーへの挑戦を応援し企業の経営革新を支援

1. 起業家の育成・支援

とやま起業未来塾の実施



起業、新分野進出、コミュニティビジネス事業者を目指す若者、女性、熟年者等を支援するための実践塾を開設します。

<http://www.toyama-mirai.com/>

定員	20名程度
期間	2019年6月～11月
コース	①未来ビジネス創造コース（定員4名程度） ②ものづくり・商業・サービス業コース（定員10名程度） ③コミュニティビジネスコース（定員6名程度）
受講料	①40,000円 ②、③30,000円

創業チャレンジの支援

- 起業や新分野進出にチャレンジする県民を支援するため、大都市圏のビジネスプラン発表会等への参加支援、起業セミナー等の開催を行います。
- 将来に向けて起業を目指そうとする人材の底辺拡大を図るため、県内の高校生、大学生、若者等を対象に、講演会を行います。

2. 創業・ベンチャー企業等の支援

創業等の支援

● 創業・ベンチャーへの挑戦応援

創業予定者からビジネスプランを募集し、新規性・独自性のある計画または地域の活性化に貢献する計画に対して、創業時の初期経費の一部を助成します。

	①製造業・建設業	②卸・小売・サービス業等 その他の業種
助成率	1/2	1/2
限度額	200万円	100万円

● 多様な起業家に対する創業チャレンジ支援

起業者の中から、特に若者・女性・シニアを対象としてビジネスプランを募集し、費用の一部を助成します。

	①製造業・建設業	②卸・小売・サービス業等 その他の業種
助成率	1/2	1/2
限度額	200万円	100万円

● 移住者に対する創業チャレンジ支援

東京23区在住者、または、東京圏内在住で東京23区に通勤していた方で、富山県内に移住し、1年以内に創業する方を支援します。

助成率	1/2
限度額	200万円

ビジネスインキュベーションの推進

県内各地のインキュベート施設入居企業に対して、インキュベーション推進員等が必要な情報を提供するとともに、指導・助言します。

◎県内のビジネスインキュベート／13施設

井波彫刻に、販促・商品開発で新風を市場が拡大し新たな可能性も

工場の三代目・南部白雲氏は、欄間にこだわらず各種の木彫刻に取り組んできた。それを加速させたのが氏の三人娘。三女の望さんが加わってからは、内弟子も含めて9人のスタッフを抱えるようになり、待ちの姿勢から攻めに転じた。

第一弾は、中小企業首都圏販路開拓支援事業（平成27年度）の採択を受けて始めた、家内安全などの祈祷済の表札の販売。販路開拓マネージャーの勧めで寺社の協力を仰いで始めると、申込みが相次ぐようになった。続いては、授与品（お守りや干支の置物）の開発とそのパンフレットの制作。翌年から2年にわたって小さな元気企業応援事業の支援を受けて若者向けのデザインに仕上げると、寺社から注目を集め始めた。宣伝や販促を担当する望さんが語る。

「授与品や表札の営業で寺社に何うと彫刻物の受注に繋がることがありますし、その逆のパターンもあります。販路開拓や商品開発によって私たちの可能性が広がりました」

井波彫刻は新たな歴史を刻み始めたようだ。



▲井波彫刻の技術を活かしたオリジナル賽銭箱（三代目・南部白雲氏作）。

▶ 工房で宣伝・販促を主に担当する白雲氏の三女・望さん。「宮大工や建具職人と連携すると可能性はもっと広がる」と意欲的。



▲三姉妹が「よしみ工房」の名で展開している授与品の一例・干支の置物。



元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

株式や社債の引き受けによる長期低利の資金提供やコミュニティビジネスの融資に対する債務保証を行います。

<p>1 間接投資</p> <p>ベンチャーキャピタルによる投資（株式取得・社債引受） 限度額5,000万円 償還10年以内</p>	<p>3 社債債務保証</p> <p>間接投資債務保証 保証料/年0.5% 保証割合/社債引受元本の70%</p>
<p>2 直接投資</p> <p>間接投資を受けた中小企業に対して直接投資（社債引受） 限度額1,000万円 償還10年以内</p>	<p>4 融資債務保証</p> <p>保証料/年0.8% 保証割合/融資額の70%</p>

3. 経営の革新・活性化支援

窓口相談の実施

中小企業の経営や技術革新、新製品開発や販路拡大、新連携・地域資源活用・農工商連携などさまざまな相談に対して、豊富な知識と経験を持つ専属スタッフが対応します。

富山県中小企業支援センター

総合相談窓口
（ワン・ストップ・サービス）

- プロジェクトマネージャー（総括）
- サブマネージャー（経営、IT、金融担当）

専門家の派遣

高度で専門的な課題に対しては、経営、技術、情報化など多様な分野の専門家を派遣し、確かな診断と助言を行います。

◎派遣費用/1回あたり3万円（事業主1/3負担）

IoT・AI活用人材育成・導入促進支援

- IoTの体系的な指導や、AIの技術動向に関する講習を実施します。
- 企業へ専門家を派遣し、IoT・AIを活用した現場改善を提案します。

◎派遣費用/1回あたり3万円（事業主1/3負担、初回無料）

よろず支援拠点の設置

地域の支援機関と連携しながら中小企業・小規模事業者が抱える売上拡大や資金繰り等の経営課題に対して、ワンストップで対応する「よろず支援拠点」を設置し、支援を行います。

下請かけこみ寺の各種相談

中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって対応します。また、紛争解決の迅速・簡便な手段としてADR手続きを行います。

中小企業の経営改善、事業再生支援

中小企業再生支援協議会の常駐専門家が、取引先や金融機関と調整して中小企業の再生を支援します。また、経営改善支援センターでは、経営改善計画の策定等の費用につきその2/3を助成します。

事業承継・事業引継ぎ支援

行政・金融機関・商工団体・士業団体等により構成する「事業承継ネットワーク」が、「事業引継ぎ支援センター」を中心として、中小企業等の抱える事業引継ぎや事業承継の課題を解決するため、マッチングや事業承継計画策定の支援を行います。

中小企業等の外国出願助成

県内の中小企業等が外国へ特許等出願する場合、その出願経費の一部を助成します。

- ◎特許出願 助成率 1/2以内、上限150万円
- ◎商標登録出願 助成率 1/2以内、上限60万円

地域資源を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

富山県が指定する地域資源(産地の技術や農林水産品、観光資源)を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴って行う販路開拓事業に対し助成します。

- ◎助成率 1/2 ◎助成期間 最長2箇年度
- ◎助成限度額 500万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

ビジター対応のビジネス支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新幹線開業等に関連した商品開発や様々なアイデアを生かした事業展開に対し助成します。

- ◎助成率 1/2 ◎助成期間 最長2箇年度 ◎助成限度額 100万円

小さな元気企業の応援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内小規模企業者(グループ含む)の商品開発や販路開拓等の取り組みに対し助成します。

- ◎助成率 1/2 ◎助成期間 最長2箇年度
- ◎助成限度額 50万円(県外の販路開拓経費については、25万円*)

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。

農商工連携を活用した事業支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

中小企業者と農林漁業者とが連携し、双方の経営資源を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴う販路開拓事業に対し助成します。

- ◎助成率 2/3 ◎助成期間 最長2箇年度
- ◎助成限度額 200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成は100万円以内。

4. 販路の開拓支援

受発注取引のあっせん・紹介

県内中小企業の受注機会を増やすため、県内外企業の発注情報の収集・提供をしています。

商談会・展示商談会の実施

東京・大阪・名古屋地区で広域商談会を開催しています。また、県内企業が得意とする先端的な技術や工法を大手企業向けに紹介する展示商談会を行っています。

販路開拓の挑戦支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者の販路開拓を支援するため展示会や見本市への出展等に対し助成します。

	県外市場開拓	国外市場開拓
助成率	1/3	1/3
限度額	25万円*	50万円
助成期間	最長2箇年度	最長2箇年度

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。

首都圏への販路開拓支援

首都圏の企業へ自社製品を売り込みたい県内中小企業に対して、コーディネーター等を活用して販路開拓を支援します。

5. 情報化の支援

TOYAMAインターネット活用研究会

インターネットビジネスを積極的に取り組む企業の方々が集まる研究会です。

講演会、実践講座、交流会などを実施します。また有志会員による月例勉強会を開催しています。

- ◎年会費/12,000円

<https://www.tonio.or.jp/info/toyama-internet/>

ITビジネス利活用促進支援

- ・ネットビジネス実践塾の開催(2コース)

図書・ビデオ・DVDソフトによる情報提供

情報ビル1Fフロアで経営関連の図書や雑誌・新聞等の資料や、社員教育・製造業関連・繁盛店情報など企業に役立つビデオ・DVDを多数取り揃えています。

すべて開架式ですから、必要な図書やビデオ等を書架から自由に取り出し、閲覧・視聴できます。

また、無料で貸し出しするサービスを行っています。

<https://www.tonio.or.jp/info/library/>





Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による富山ならではの新産業の育成・創出

6. 産学官連携の推進

■ 水素インフラ・次世代自動車研究の推進

次世代自動車関連産業の創出・育成及び水素社会の実現に向けたインフラに関する技術セミナーや技術交流会の開催、先進地視察等を行い、研究開発や関連ビジネスへの参入を推進します。

■ 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

● 医薬品ものづくり研究会の運営

付加価値の高い医薬品の容器、包装等の開発を支援するセミナー、マッチング等を推進します。

● 医薬工連携研究会の運営

多様な「ものづくり技術」を活かした医療機器・介護機器分野への新規参入と製品開発を支援するセミナー、展示会出展、マッチング等を推進します。

■ ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

■ 医薬バイオ地域イノベーションの推進

地域イノベーション戦略支援プログラム(北陸ライフサイエンスクラスター)やその他関連した国・県の公募事業の研究成果等の技術移転・事業化と医薬工連携による医療機器等の開発を推進します。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

● ヘルスケア産業研究会の運営

ヘルスケア関連分野での製品開発、事業化を促進するため、セミナー・情報交換会の開催、コーディネート活動等を通して、産学官のネットワークの形成やマッチングを推進します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

高機能素材であるアルミの特性を活かす産学官が取り組む研究開発プロジェクト等を推進します。

7. 新産業・新技術の創出支援

■ 産学官イノベーションの推進

● 新商品・新事業創出枠

バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機、医薬工連携、次世代自動車、ロボット、ナノテク、IoTなどの成長分野を中心に、産学官グループから開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく開発を支援します。

委託額	200万円以内
委託期間	1年度内



医薬工 小児用小型錠剤(ミニタブレット)製造用の打錠杵臼の開発(産業機械メーカー・富山県事業総合研究開発センター)。



ものづくり 食品衛生法に適合する銅鑄物ウイスキー蒸留器(ポットスチル)の開発(大型鑄物製造業・富山県産業技術研究開発センター)。

● 新ものづくり戦略推進枠

産学官グループが実施する先端技術の実用化段階における、困難な技術的課題の解決を伴う商品開発・事業化を支援します。

委託額	500万円/年以内
委託期間	2箇年度以内

● ヘルスケア製品開発推進枠

ヘルスケア関連製品の基礎的なシーズ技術の開発・試作や実証実験など、具体的な製品の实用化を目指す研究開発を支援します。

委託額	200万円以内	500万円/年以内
委託期間	1年度内	原則2箇年度以内

■ 医薬品関連ものづくり研究開発の支援

ものづくり企業の医療現場や製薬企業・医薬品関連業界等からの具体的なニーズに基づく製品・技術の研究開発を支援します。

助成率	1/2以内
限度額	250万円/年
助成期間	1年度内

■ 企業間連携による事業化実現への支援

県内の産業基盤を強化し、県内企業におけるものづくりの競争力を高めていくために複数の県内企業による新製品開発等を支援します。

助成率	1/2以内
限度額	1,000万円/年
助成期間	1年度内

■ とやまナノテククラスター技術移転・事業化の促進

地域イノベーション戦略支援プログラム(とやまナノテククラスター)での取り組みについて、PR活動を通じ、研究成果の技術移転・事業化を促進します。

■ ものづくり研究開発支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
限度額	200万円
助成期間	最長2箇年度

■ 戦略的基盤技術高度化支援(サポイン)

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組み(中小ものづくり高度化法等の計画認定を受けたもの)を支援する事業に関し事業管理機関として支援します。

CASE

2

五洲薬品株式会社 (研究開発部長) 佐伯 行紀 氏

▶ P.6 ● 産学官イノベーション推進事業

▶ P.7 ● 戦略的基盤技術高度化支援事業(通称サポイン)

共同研究の中から新商品を開発 次の研究テーマのヒントも得る

富山湾の海洋深層水を利用して、さまざまな商品開発を進める同社。平成28年度には産学官連携推進事業(産学官イノベーション推進事業に引継がれる)の採択を受けて、深層水と微細化昆布を用いた高機能スキンケア剤の開発に取り組んだ。昆布のナノ化により肌荒れの改善効果を高め、商品化に弾みをつけた。続く戦略的基盤技術高度化支援事業では、ヒトの幹細胞を培養する溶液を深層水からつくり、それを化粧品に応用することに。「本格的な医療分野への挑戦で、緊張の連続でした」と佐伯部長は振り返る。本事業は、iPS研究の第一人者のほか、4大学の専門家が参画する大型研究となった。

その結果、細胞培養液の開発は深層水による高性能化へと発展し、培養液の応用ではシワの改善と美白効果を認める高機能化粧品が開発された。佐伯部長が数々の経験を通して語る。

「共同研究の過程や成果には、次の商品開発のヒントを得ることも含まれる」と。そしてサポインで得たヒントを指折り数えるのだった。



◀同社は日本で初めて多段式海水分離技術の实用化に成功し、富山湾の海洋深層水を活用した各種商品を展開している。



◀「国や県との共同研究は20件近くを数え、その中で次の商品開発のヒントを得ている」と語る研究開発部の佐伯行紀部長。

▲「大学や公設試験研究機関の研究者と交わると、刺激になる」とは同社開発スタッフのコメント。



8. 富山県ものづくり研究開発センター

● 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。10m法の電波暗室、63種類の最先端設備を備えたデジタルものづくりラボ、高性能素材ラボ、製品機能評価ラボ、CNF製品実証試作拠点等の最先端設備等設置スペースと、研究開発スペースの開発支援棟で構成されています。



● 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自ら操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

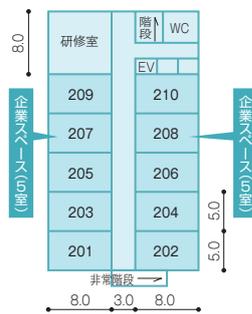
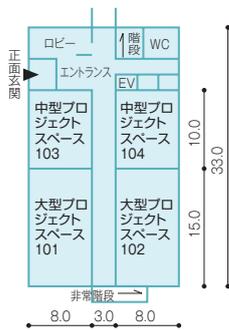
● 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

● 開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]			[2階]		
プロジェクトスペース			企業スペース		
使用料金	80㎡(2室)	月額 181,000円	使用料金	40㎡(10室)	月額 90,500円
	120㎡(2室)	月額 271,500円			



● 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

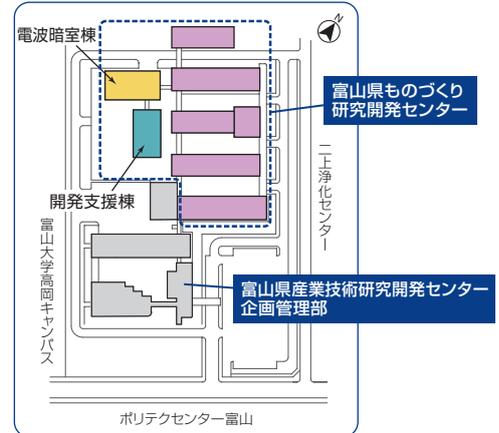
● 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。

● アクセス



高岡市二上町122
 (富山県産業技術研究開発センター敷地内)
 TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283



環日本海・東アジア諸国図／通称「逆さ地図」
富山県が国土地理院の承認を得て作成した
地図です。(平24情使第238号)「逆さ地図」
に航路、航空路が重ねてあります。

Toyama New Industry Organization

アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

..... 航空路
..... 航路

9. アジア経済交流の推進

■ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>



ホームページでも公開

10. 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

■ 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

海外ビジネスに関する実務経験が豊富なアドバイザーを配置し、「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様にバックアップします。

富山県海外ビジネスサポートデスク	
○富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所)	23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-8495
○富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所)	台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室 TEL:+886-2-2725-5918

11. 貿易・投資コンサルティング

■ アドバイザーによるコンサルティングや「中国研究会」の開催



アジア地域・貿易等に関する専門知識や実務経験が豊富なアドバイザーが、貿易や海外進出などについてのご相談に応じ、アドバイスします(事前予約制・無料)。

貿易投資アドバイザー		
中国	藤野	文悟
東南アジア	鎌田	慶昭
ロシア	森岡	裕
東南アジア	宮本	敏和
中国	稲田	堅太郎



また、県内企業等などからの要請に応じセミナー講師を派遣します。中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を毎月1回開催しています。

12. 海外市場開拓の支援

■ 販路開拓の挑戦支援（とやま中小企業チャレンジファンド事業）

県内中小企業者の販路開拓を支援するため、海外で開催される展示会への出展、現地での市場調査等に対し助成します。



国外市場開拓	
助成率	1/3
限度額	50万円
助成期間	最長2箇年度

■ 海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいし、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。

○2019年度予定

海外バイヤー招へい商談会

富山県及び岐阜県、長野県が連携して、海外からバイヤーを招へいした商談会を開催
期間：2019年7月

■ 経済交流ミッションの派遣

主にアジア地域の投資環境や経済・物流の動向を探るためミッション団を派遣します。現地では政府機関や企業を訪問し、双方のビジネスチャンス拡大に向け、率直な意見交換を行います。



13. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るため、「富山県ものづくり総合見本市2019」を開催します。

会期	2019年10月31日(木)～11月2日(土)
会場	富山産業展示館(テクノホール)
主催	富山県ものづくり総合見本市2019実行委員会
参加国・地域	中国、台湾、東南アジア等(予定)
対象分野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ、IT、化学、 医薬品、伝統工芸、食品加工、繊維、デザイン産業等

CASE

3

かね七株式会社 〈総務部〉石黒 文敏 氏

- ▶ P.9 ● 富山県海外販路開拓サポートデスク
- ▶ P.10 ● 販路開拓挑戦支援事業(国外)
- ▶ P.10 ● 海外バイヤー招へい商談会

アジアの国々に魚介系のうま味を伝え市場を拡大。いずれは欧米も!

主に魚介類のだしや加工品の製造販売を行っている同社では、海外市場の開拓や拡大を図るため、東南アジアの国々を中心に販促活動を展開。ミャンマーでは、首都ヤンゴンに、個人商店から発展し、現在では代理店の役割を担う企業はあるものの、ヤンゴン以外での取扱店は少なかった。同社は、販路開拓挑戦支援事業(国外)を活用したヤンゴンで小売店開拓のためのプロモーション(平成28年度)ほか、Japan Expo 2018 YANGONに参加(同30年度)して、消費者へのPRに努めた。また、平成27年、29年に参加した海外バイヤー招へい商談会で出会った、中国やアメリカ等からの招へいバイヤーと商談がまとまり、輸出につながった。

海外展開に携わる石黒文敏氏は、「富山県海外販路開拓サポートデスクでの、海外ビジネス経験が豊富でアジアの販路開拓に詳しいアドバイザーからの助言は本当に頼もしい。今後は、シンガポール、マレーシア、タイへの輸出に挑戦したいと考えているので、支援をお願いしたい」と意欲的に語った。



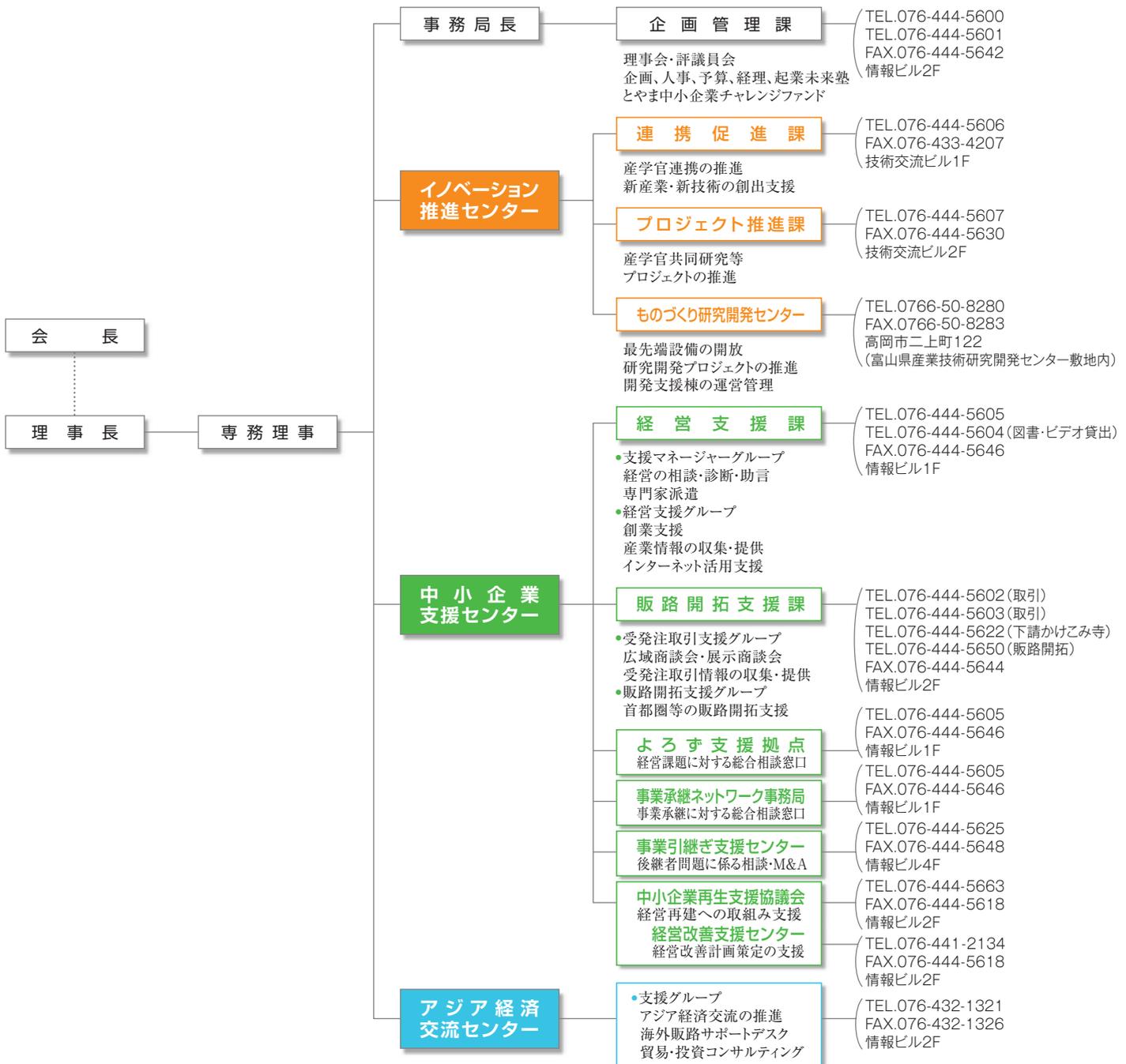
▲Japan Expo 2018 YANGONに参加した際のかね七のブース。代理店のスタッフとともに、現地の言葉に翻訳したパンフレットも用意し、一般消費者に同社のだしを紹介した。

▼生産設備をHACCP対応型に整備しつつあるかね七の本社・工場。「いずれは欧米の市場もつかいたい」と石黒文敏氏は抱負を語る。



▲同社の各種のだしパック。

公益財団法人 富山県新世紀産業機構 組織図



交通案内

- JR 富山駅から市電で10分、富山トヨベツ本社前(五福末広町)駅下車、徒歩10分
- JR 富山駅よりバスで小杉・高岡方面行乗車、新富山にて下車、徒歩10分
- 北陸自動車道富山インターより車で約20分
- 北陸自動車道富山西インターより車で約15分
- 富山空港より車で約15分



(A) 拡大図



公益財団法人 富山県新世紀産業機構

[情報ビル] 〒930-0866 富山市高田527番地
 [技術交流ビル] 〒930-0866 富山市高田529番地
 URL: <https://www.tonio.or.jp/>

2019年3月発行



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。